

■コメント

1. インフルエンザ

定点医療機関から28人(定点当たり0.76人、迅速診断キット:A型陽性16人、B型陽性12人)の報告があり、流行開始の目安である定点当たり1.0人に近づいています。

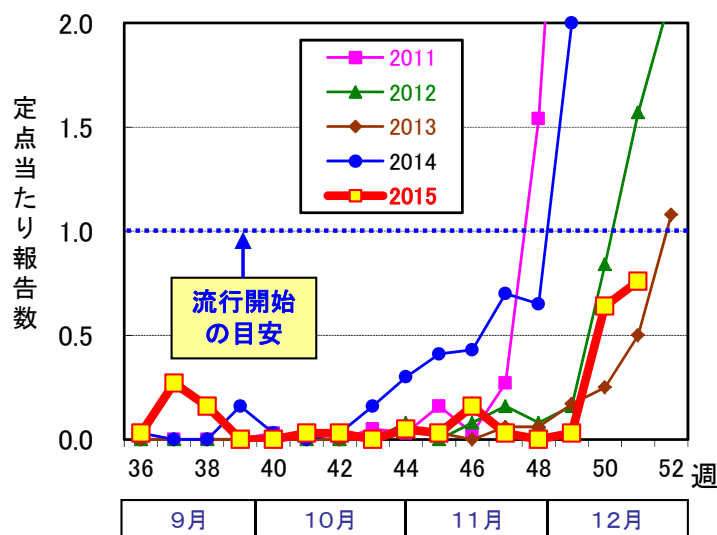
また、12月16日に、広島市で今シーズン初めてのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖が報告されました(中区の中学校)。

これから寒くなっていきますので、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防を心がけてください。

2. 伝染性紅斑

定点当たり1.25人と、例年同時期と比べて多い状況が続いています。(次頁参照)

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	28	0.76	4.74	→
小児科	咽頭結膜熱	9	0.38	0.48	→
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	82	3.42	1.91	→
	感染性胃腸炎	207	8.63	16.20	→
	水痘	18	0.75	1.86	↑
	手足口病	2	0.08	0.33	→
	伝染性紅斑	30	1.25	0.06	→
	突発性発しん	13	0.54	0.38	→
	百日咳	3	0.13	0.08	→
	ヘルパンギーナ	-	-	0.03	→
	流行性耳下腺炎	36	1.50	0.68	→
眼科	RSウイルス感染症	30	1.25	1.12	→
	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	→
	流行性角結膜炎	12	1.50	0.40	→
	細菌性髄膜炎	-	-	-	→
	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	→
	マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.43	→
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	→
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	→	→
	基幹				
	基幹				

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	→	→	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	→	→	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	142	男性(40歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺 炎	クラミジ ア肺炎	(ロタウ イルス) 感染性胃 腸炎
報告数	広島市	第47週	1	5	99	311	10	4	17	12	1	3	38	42	-	14	-	-	1	-	-
		第48週	-	6	68	255	13	7	28	7	3	4	36	44	-	18	-	-	2	-	-
		第49週	1	8	68	222	15	3	31	6	-	3	40	39	-	7	-	-	5	-	-
		第50週	23	7	80	233	7	1	40	12	-	-	37	42	1	11	-	1	10	-	1
		第51週	28	9	82	207	18	2	30	13	3	-	36	30	1	12	-	-	4	-	2
定点当 たり	広島市	第47週	0.03	0.21	4.13	12.96	0.42	0.17	0.71	0.50	0.04	0.13	1.58	1.75	-	1.75	-	-	0.14	-	-
		第48週	-	0.25	2.83	10.63	0.54	0.29	1.17	0.29	0.13	0.17	1.50	1.83	-	2.25	-	-	0.29	-	-
		第49週	0.03	0.33	2.83	9.25	0.63	0.13	1.29	0.25	-	0.13	1.67	1.63	-	0.88	-	-	0.71	-	-
		第50週	0.64	0.30	3.48	10.13	0.30	0.04	1.74	0.52	-	-	1.61	1.83	0.13	1.38	-	0.14	1.43	-	0.14
		第51週	0.76	0.38	3.42	8.63	0.75	0.08	1.25	0.54	0.13	-	1.50	1.25	0.13	1.50	-	-	0.57	-	0.29
	全国	第49週	0.21	0.58	3.12	8.66	0.74	0.23	0.79	0.48	0.01	0.05	0.81	2.32	0.02	0.85	0.02	0.04	0.85	0.02	0.07
		第50週	0.34	0.64	3.34	10.14	0.70	0.18	0.80	0.46	0.01	0.04	0.85	2.36	0.01	0.81	0.02	0.05	0.80	0.03	0.08

■新たに判明した病原体検出状況

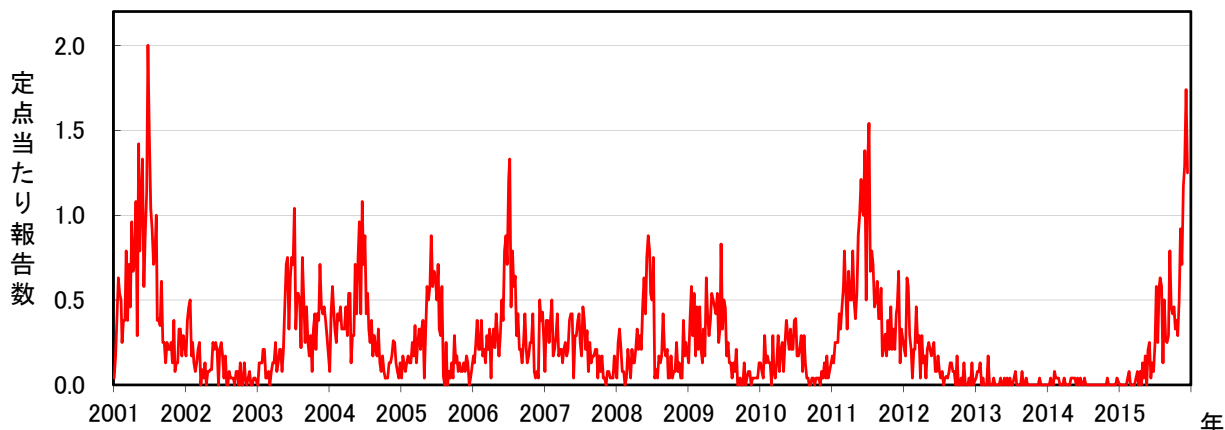
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.6) 嘔吐 嘔き気 下痢	1	男	2015/11/06	糞便	ノロウイルスG2群
RSウイルス感染症	発熱(39.7) 喘鳴	2	男	2015/11/07	咽頭拭い液	RSウイルス
RSウイルス感染症	発熱(38.0) 肺炎 呼吸器不全	3	女	2015/11/15	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 下気道炎 気管支炎	1	男	2015/10/30	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎 気管支炎	0	男	2015/11/11	咽頭拭い液	RSウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における伝染性紅斑の最近15年間の発生動向

(2001年～2015年第51週)



伝染性紅斑はヒトパルボウイルスB19を病原体とする感染症で、咳・くしゃみなどの飛まつ、または接触により感染します。10～20日の潜伏期間の後、頬に紅い発しんが現れ、続いて手足にも発しんが出現します。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」とも呼ばれます。

全国的に4～5年おきに患者が増加する傾向があり、広島市では2011年以降の流行となっています。なお、年齢別では、5歳前後の患者数が多くなっています。手洗い・うがいの励行など感染予防に努めましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第51週(12月14日～12月20日)